

## 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

### 研究テーマ

持続可能な社会をめざし、生活を豊かに創造する力を育む学習指導のあり方

### 研究の視点

- ① 家庭分野における持続可能な社会のとらえ方
- ② 持続可能な社会を目指す、家庭分野3年間の指導計画の作成
- ③ 問題解決的な学習の取組（問題解決的な学習の場면을工夫する）
  - ・生活を豊かにするための工夫について
  - ・持続可能な社会を目指す

# 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日 時：平成30年6月19日（火）

展開場所：被 服 室  
授 業 者：

1 題材名 衣生活・住生活と自立「日常着の手入れ」（B 衣生活・住生活と自立（1）ウ）

2 題材について

（1）題材観

人間が衣服を着用する目的は、保健衛生面や危険から身を守ることが主だったが、時代と共に多様化し、道徳・儀礼、個性、所属・職業の表現など、生活面・社会面に關わる部分が大きくなった。現代は衣類を消費する時代となり、安価で良質な衣料が簡単に入手でき、破損したら繕わずにすぐに購入し、流行を追い求めて様々な衣類が手に入るようになった。加えて、技術の発達に伴い、自動洗濯機の普及や形状記憶型繊維などの開発、クリーニングサービスの利用によるものも大きい。こうなってくると、家庭での衣服管理の仕事は以前に比べて激減していることが分かる。

現在の中学生は、個人差はあるがこの時期におしゃれやファッションに興味が出てくる。自己表現である「着る」ことに関心が高くなり、衣服に關する題材は取り組みやすい分野である。しかし一方で、最近ではインターネット雑誌やテレビ・インターネット等から膨大で多種多様な情報を入手することができる。自分の趣味や流行などを優先して選択するあまり、衣服本来のはたらきを見失い、時と場に応じた着用ができなくなる傾向にある。

また、中学生の家庭での衣生活との関わりは、「入手」「着用」することを除き、ほとんど実際の経験がない状況である。日常着の裾のほつれ、取れかけのボタン、衣服の汚れ・洗濯など、「手入れ」の必要性の意識が低下している。

そこで、本題材では中学生が健康で社会的・文化的な生活を営むために、時と場に応じた選択と適切な衣服管理が大切であることを理解するとともに、衣生活に關する正しい知識と「手入れ」などに關わる技術の習得を目指し、今後に生かせる力を身につけさせたい。またその中で、自己表現を可能にする工夫など、衣生活を楽しむ気持ちも育てたい。

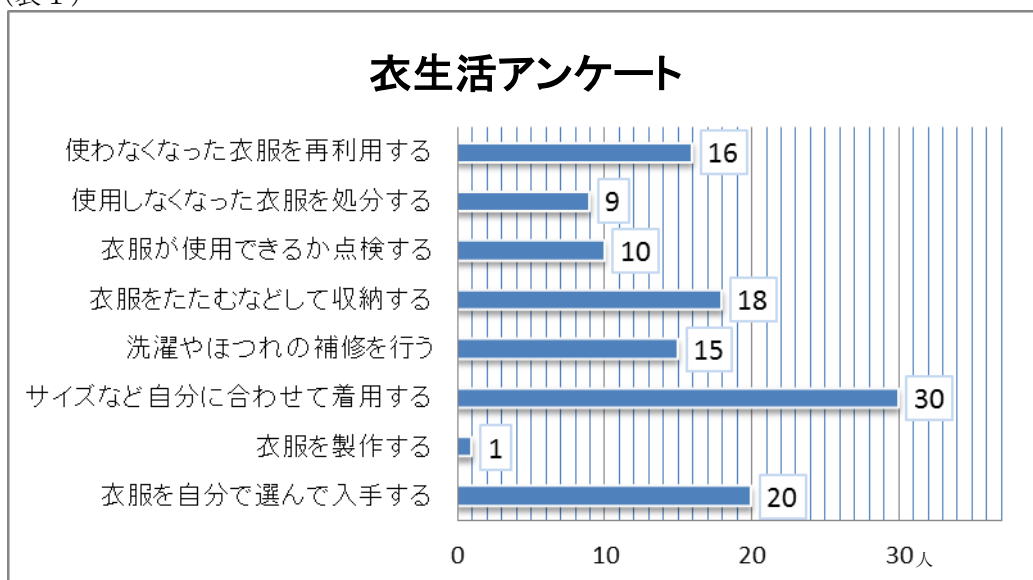
（2）生徒の実態

普段から明るく素直な生徒が多く、互いに生活面で声掛けを行いながら前向きに活動している。中学校に入学して間もなく、まだ小学校の頃の習慣が抜けきっていないため、中学校の生活リズムになじめるように努力している段階である。また、制服を着ることに慣れていないため、制服やジャージの着替えにどうしても時間がかかってしまう。また、そもそもどうして制服を着る必要があるのか分からないといった生徒も見受けられる。

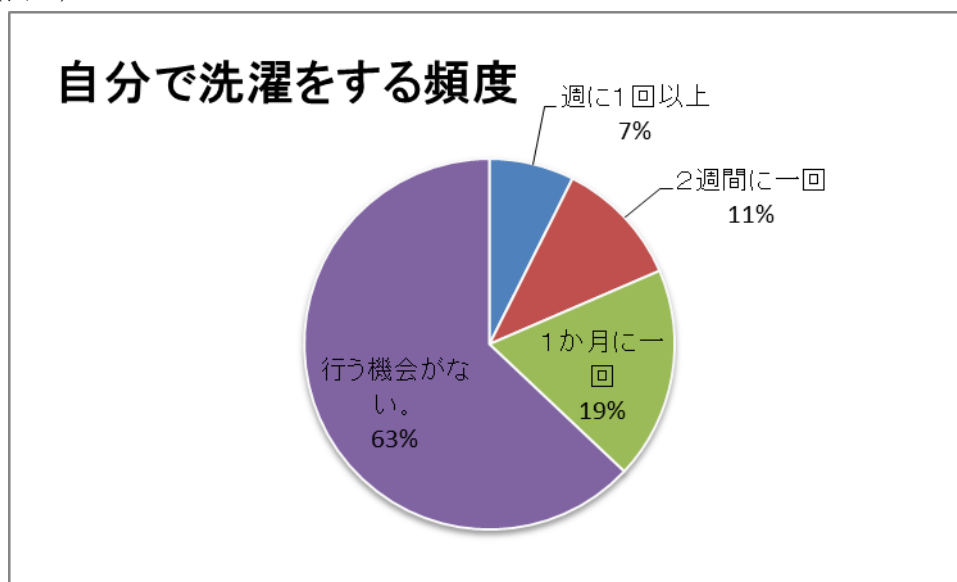
今回、衣生活・住生活に關する学習を進めるにあたり簡易的なアンケートを行った。「計画的な衣生活において、自分が普段行っているもの」（表1）という問いに対し、「サイズなど自分に合わせて着用をする」を30名の生徒が選択している一方で、「洗濯やほつれの

補修を行う」は15名にとどまった。また、「自分で洗濯をする頻度」(表2)という問いに対し、「週に1回以上」と答えた生徒は7%、逆に「行う機会がない」と答えた生徒は63%までのぼった。これらの結果から、各家庭で実際に洗濯などの「洗濯や補修」をほとんど行っていない実態があると考えられる。そこで、特に「洗濯」に焦点をあてた授業を行い、情報交換をする機会をつくり、あまり洗濯をする機会がなかった生徒も興味を持たせることができれば、実際に各家庭で洗濯を行う機会を増やすきっかけになるのではないかと考える。

(表1)



(表2)



### (3) 指導観

これから生徒たちが生活していくうえで、「衣服の手入れ」は欠かすことのできない大切な技能の一つである。そこで、普段の生活に置き換えやすい内容での授業を行いたいと考える。また、近年多種多様な洗濯用洗剤が出回るようになったことにも触れ、洗剤の適切な使い方を考えることで、洗濯と環境の問題につなげたい。本時で各家庭での洗濯機を使用した洗濯を想定して授業を進めることで、洗濯機を使用する機会がなかった生徒が自発的に家庭での仕事に取り組めるように促したい。

### 3 題材の目標

日常着の手入れのしかたを理解し、衣服に合わせた手入れを行うことができる。

### 4 題材の評価規準

- ・衣服の手入れについて関心を持ち学習活動に取り組み、衣生活をよりよくしようとする  
ことができる。 (関心・意欲・態度)
- ・衣服の手入れに関する課題を見つけ、その解決を目指して工夫することができる。  
(工夫・創造)
- ・衣服の手入れに関する基礎的・基本的な技術を身に付けることができる。 (技能)
- ・衣服の手入れについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。  
(知識・理解)

### 5 指導計画 (5時間扱い)

時	学習内容	評価規準	関	工	技	知
1	○衣服の汚れについて知ろう ・汚れの種類とその落とし方を知る。 ・手入れの方法を知る。	・衣服の汚れに関心を持ち、学習活動に取り組むことができる。【関】 ・衣服の汚れに合わせた手入れの方法が分かる。【知】	○			○
2	○衣服の素材について知ろう ・布の素材や構成を知る。 ・取扱い表示を知る。	・衣服の素材に関心を持ち、衣生活をよりよくしようとしている。【関】 ・布の素材や構成、取扱い表示の意味が分かる。【知】	○			○
3	○洗剤について知ろう ・洗剤の種類やそれぞれの特性を知る。	・洗剤を使用するとき、種類や特性・量を工夫しようとすることができる。【工】 ・洗剤の種類、特性について分かる。【知】		○		○
4 本 時	○洗濯について考えよう ・それぞれ衣類に適した洗濯のしかたを自分で選択する。	・衣類の洗濯について関心をもつことができる。【関】 ・衣服の素材、状態に合わせた洗濯方法を自分なりに考えられる。【工】	○	○		
5	○衣服の収納・保管の方法 ・アイロンを安全に使用する。 ・衣服を丁寧にたたむ。	・衣服の収納と保管について意欲的に活動することができる。【関】 ・アイロン温度を適切に設定し、安全に使用することができる。【技】	○		○	

## 6 本時の指導

(1) 小題材名 洗濯の仕方について考えよう

(2) 本時の目標

衣服の素材・状態に合わせて洗濯方法を工夫できる。

(3) 本時の評価規準

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し、 創造する能力	生活の技能	生活や技術につ いての知識・理解
おおむね 満足	衣類の洗濯につ いて関心を持つこ とができる。	衣類の素材、状態に 合わせた洗濯方法を 自分で判断できる。		

(4) 本時の展開

学習 過程	時 配	学習内容	指導上の留意事項	資料・評価
課 題 を 掘 む	5	<p>○前回までの「手入れ」に関する内容を振り返る。</p> <p>○本時の学習課題を確認する。自己評価カードに記入する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">衣服に合わせた洗濯のしかたを考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服につく汚れ、布の素材や構成、洗剤の使い方などを考える必要があることを確認する。</li> <li>・洗濯の仕方を失敗した例をみせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価カード</li> </ul>
追 究 す る	20	<p>○洗濯の流れをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1点検→2仕分け→3洗濯機による洗濯→4乾燥</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポケットの中</li> <li>・組成表示や取り扱い絵表示</li> <li>・汚れの種類や程度</li> </ul> <p>2仕分け (内容のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部分洗い、つけおき洗い</li> <li>・ネット使用</li> <li>・生地の色 (白・色物)</li> <li>・しわになりやすい物</li> </ul> <p>3洗濯機による洗濯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗剤を選ぶ</li> <li>・洗濯コースを選ぶ</li> </ul> <p>4乾燥 (内容のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・干し方を確認する。</li> <li>・布の材質による保管方法。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段行う洗濯の流れが理解できるように板書する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> </ul>

	<p>○1班1着ずつ配布された衣服を確認し、情報をまとめる。</p> <p>○洗濯するとき、どんなことに気を付けたらよいか考える。 [予想されるもの]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ方で洗い方を変える。</li> <li>・素材に合った洗い方をする。</li> <li>・衣服に合わせて洗剤を選ぶ。</li> </ul> <p>など</p> </div> <p>○衣類の種類に応じた洗濯のしかたの流れに沿って考える。</p> <p>○班ごとに「洗濯の流れ」をまとめ、発表の準備をする。</p>	<p>・衣服の状態から情報を読み取らせる。</p> <p>・班ごとに話し合っ、「気をつけたいこと」を考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Yシャツ（白地） ジャージ Tシャツ ズボン セーター くつした（白地） 給食の白衣 ジャケット（デニム）</p> </div> <p>・点検・洗濯前の作業にも触れる。</p> <p>・衣類に応じて洗剤や洗濯コースを工夫する必要があることを伝える。</p> <p>・机間巡視しながら、ポイントを見つけられるように助言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣類（4種）</li> <li>・ワークシート</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班用 「まとめボード」</li> </ul>
深める	<p>○班ごとに発表を行う。</p> <p>○他の班の発表から得た情報をプリントに書き足す。</p>	<p>・他の班の発表を聞き、違う意見に気付かせる。</p>	<p>●衣類の素材、状態に合わせた洗濯方法を判断できている。</p> <p>【工夫・創造】 (ワークシート)</p>
まとめる	<p>○洗濯するとき大切に感じたことをワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>衣服に合わせた洗濯のしかたを考えたことができたか</p> </div> <p>○本時の自己評価を記入する。</p>	<p>・数名に発表させる。</p> <p>・洗濯をする際に大切なポイントをおさえる。</p>	<p>●衣類の洗濯について関心を持つことができています。</p> <p>【関心・意欲・態度】 (ワークシート)</p> <p>・自己評価カード</p>